

AGS UTSC

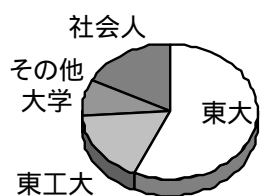
気候変動ワーキンググループ

気候変動ワーキンググループとは

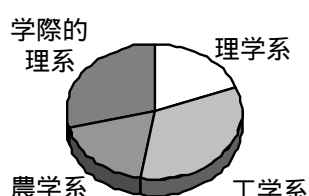
「気候変動ワーキンググループ」は、地球温暖化問題に関心のある様々な専門を持つ学生が集まったグループで、2003年2月に設立されました。今年で3期目になります。

活動のメインは、定例勉強会における専門発表とワークショップと、国際会議COPへの参加です。その他、学園祭への出展、合宿、施設見学会などのイベントも行っています。

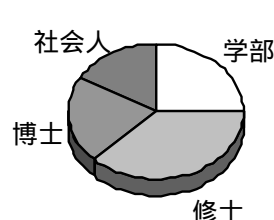
メンバー： 東京大学の学生を中心に、様々な大学、学部、学年の学生が参加しています。



大学



学部・専攻



学年

肩書きこそ理系の学生が多いですが、国際関係論や消費者意識など、いわゆる文系的な研究をしている学生も多く集まっています。

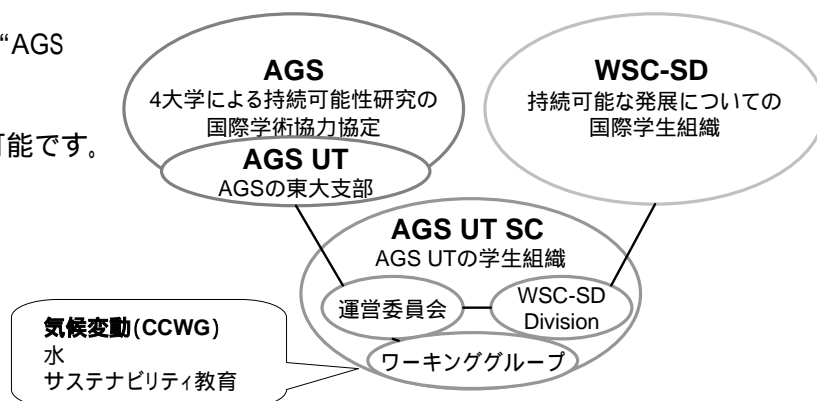
組織： 元を辿れば東京大学。MITなど海外の大学とのつながりもあります。

MITなど4つの大学から成る国際学術協力協定“AGS”の下部組織“AGS UTSC”を母体としています。

“AGS UTSC”は、国際学生組織WSC-SDとも関係があります。

これらの組織における活動を利用して、世界と繋がりを持つことも可能です。

また、活動資金はAGS UTSCから得ています。



定例勉強会の開催

月に一度(主に下旬の土曜または日曜の夕方)、本郷キャンパスで定例勉強会を開催します。

修士・博士学生による研究についての専門発表と、ワークショップ形式でのディスカッションを行っています。

専門発表

専門発表は、修士や博士の学生が自分の研究を発表する場です。普通の学会発表とは違い、多様な視点からの問題提起、議論の広がりを目指しています。

いつでも質問やコメントが可能なので、議論が白熱して時間をオーバーすることもしばしばです。

2004年度は次のような内容の専門発表が行われました。

- 河川低質に含まれる多元素の濃度および化学状態の垂直分布に関する研究
- 太陽光エネルギーを用いた水素発生反応
- 南極におけるアザランの潜水行動
- 気候変動が生物多様性に与える影響
- 新規なフッ素系温室効果ガスの分離技術の開発
- 数理計画法によるエネルギー供給方法の最適化
- 廃セメント微粉末を用いたセメント産業における新規二酸化炭素削減プロセス
- バイオマスを利用したエネルギーシステムの設計・評価に関する研究

ワークショップ

ワークショップでは、資料調査やブレインストーミングを交えながらディスカッションしています。

互いの興味を持つ気候変動についての知識と興味を深める意見やアイデアを共有・融合し、今までにない気候変動問題の切り口を発見していくことが目的です。

2004年度は次のようなテーマのワークショップを行いました。

- 水素社会について(水素利用技術の整理、自然への影響の考察、普及に必要な制度やインフラに関するディスカッション)
- 2050年の未来予想図の作成
- COP10参加の準備(何をしたいか、何が出来るか?の整理、COP9までの交渉経過と京都議定書の現状についての勉強、COP10への抱負)
- COP10参加報告会
- 森林について(経済産業省・農林水産省・環境省・NGOの視点での論点整理とディスカッション)

COPへの参加

COPとは「気候変動枠組条約締約国会議」のことで、世界各国の閣僚や最高峰の研究者が集う国際会議です。「京都議定書」も、このCOPにおいて定められました。気候変動ワーキンググループからCOPへ毎年3～4人を派遣し、情報の収集や研究者との交流を行っています。なお、COP参加資格を得るのは学生団体には難しいため、NGO団体である「市民フォーラム2001 温暖化研究会」に協力していただいています。

COP10参加：2004年12月のCOP10には3人のメンバーが参加しました。

2004年12月にはCOP10がアルゼンチンのブエノスアイレスで開催され、3人のメンバーが参加しました。

- 参加者 (新領域・環境学・M2)：科学的知見が政策決定にどのように用いられているかに関心
- 参加者 (工学・電気・M1)：世界のエネルギー政策に関心
- 参加者 (教養・理一・B2)：政策決定における「研究」の意味についての関心

研究や授業などの都合もあり、COPに参加したくても参加できないメンバーがいます。このため、参加者には、予めメンバーの関心を調査し、代わりに情報を集める「代理人」としての役割もあります。COP会議中は毎日議事録を作成し、メーリングリストを通じて情報共有を行いました。

その他イベント

合宿：2004年9月には、千葉で合宿を行いました。

2004年9月25日・26日に、千葉で集中勉強会として1泊2日の合宿を行い、11名が参加しました。専門発表やワークショップ「2050年の未来予想図の作成」を行っただけでなく、懇親会やバスケットボールを通じてメンバー同士の交流を深めました。

五月祭：2005年度の五月祭に出展しました。

五月祭企画では、展示の他に専門発表4本・ワークショップ2本の集中勉強会を行い、これまでの活動成果をまとめて一般に公開する機会となりました。3月後半に出展を決めてから、ミーティングやメーリングリストでのやり取りを通じて企画を練ってきました。今年で当気候変動ワーキンググループは3期目に入り、これからはこの五月祭企画のような、活動成果を公開する機会を積極的につくっていかうと考えています。

今後の活動予定

COP参加：今年はカナダで行われます。

2005年11月28日から12月9日まで、COP11がカナダのモントリオールで行われます。今年2月に京都議定書が発効したため、初めての議定書の最高決定会議であるCOP/MOP1も併催されます。このCOP参加に向けて、9月後半から有志を中心に準備の勉強会を行っていく予定です。

気候変動ワーキンググループへのお誘い

ご連絡ください。まずはメーリングリストにご登録いたします。

- ・渡邊裕美子(気候変動ワーキンググループ代表) watanabey@yamaji.t.u-tokyo.ac.jp
- ・井上智弘(ML管理) toshi@cfdl.t.u-tokyo.ac.jp

ホームページ <http://ags.esc.u-tokyo.ac.jp/utsc/workgroup/climatechange/>